



森のなかま

2019年4月号

NO. 132 (継続277号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 久保 重明
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

第10回森林文化講演会 「緑のダムを考える」 ～科学者が考える森と人間の関係～

講師 ^{くらじ こういちろう} 蔵治 光一郎 氏 (東京大学院農学生命科学研究科演習林 教授)
日:平成31年2月17日(日) 場所:桜美林大学 PFC

<記 森林文化部会 内野 ミドリ 9期>

蔵治光一郎氏を講師にお迎えした森林文化講演会は、参加者75名とほぼ満席の盛況でした。配布資料には、「話の流れ」として次の項目がありました。

1. 森に降る雨はどこへ行くのか
2. 森林の「作用」と、人間から見た「機能」
3. 「緑のダム」という神話
4. 植林神話:木を植えると水は増えるのか
5. 「森の健康診断」と、見えてくる課題
6. 所有権の壁を超えるアイデアの必要性
7. 流域圏森林自治による「森林業」の復興を
8. 森と、水と、つながる社会へ



講演全景(パノラマ撮影)

森林の作用(メカニズム、機構)と機能(サービス、恵み)についてのお話では、自然界における生態系として健全な水資源を「作用」といい、保水作用、蒸発作用など。人間社会として健全な水循環を「機能」といい、作用のうち人間にとって有益なもの水源涵養機能、雨水流出抑制機能、水質浄化機能など。森林インストラクターとして、機能ばかりを森林のはたらきと説明していたことに気づき、森林の見方も奥が深いことを知りました。また「緑のダム」についても、今までの考え方を少し改めることになりました。この部分では、理解の仕方も様々で講師の話が腑に落ちない方もいたようです。

森林は、私有林であってもその森林の作用や木材生産・林産物を除く公益機能は広く一般の人の暮らしに影響を及ぼします。特にダムの上流部分の森林の整備はダムの寿命にも影響するとか、森林を共通の財産と考えて整備を進めていく必要を感じました。森と水と人の暮らしのつながりを広く一般の方に普及啓発する森林インストラクターの役割を再認識するとともに、これから導入される森林環境譲与税の活用にもかかわっていいかと思いました。

講師の歯切れのよい分かりやすいお話と、エネルギーに満ちたパワーが会場いっぱい広がって10周年に相応しい大変有意義な講演会でした。

この森林文化講演会が10回(10年)続きましたのも、神奈川県他の後援、桜美林大学の会場提供など多くの関係機関の協力をいただき、また皆さまからご支持・ご参加いただいたおかげと感謝しています。



講演を終えて

(写真撮影:
広報 松本)

後援:神奈川県、相模原市、神奈川県森林協会、(公財)かながわトラストみどり財団、神奈川新聞社
協力:桜美林大学

安全管理委員会 平成30年度「安全技術研修」
—間伐におけるKYKと掛かり木の安全な処理の仕方—

日時:平成31年2月24日(日) 9:10~15:00 天候:晴

場所:南足柄市塚原ボランティアフィールド

1. 研修の狙い<記:飯澤 恒 ⑨>

県民参加の森林づくり、NW活動では最初から最後まで自信を持って間伐指導の出来るインストラクターが求められています。自信が持てるようになるには技術力と危険予知力の裏付けが不可欠です。

安全と技術は車の両輪で有りどちらが欠けても安全な活動は出来ません。また、どちらも訓練と経験を重ねることにより身に付けることが出来ます。今回はその訓練を安全管理委員会と技術委員会の共催で森林部会の協力を得て開催しました。

2. 研修の内容<記:飯澤 恒 ⑨>

参加者は間伐の各手順で現場を見てその手順で予想される危険を短時間で見付けそれを事前に回避する方法を考え記録する。その記録を講師が全員から聞き取り纏めてから作業を開始して先に進める。このことを間伐の10手順で繰り返す。また、間伐作業で尤も危険な掛かり木を外す用具として配備されながら余り使われていないフェリングレバーを使いツルの調整で掛かり木を外す方法を体験する。

後日、班毎に記録されたリストは講師が取り纏め、班毎に纏められたリストを全体で集約して今回の研修成果として参加者全員に配布することになっている。

3. 研修に参加して<記:國弘 明子 ⑭>

研修の目的は森林インストラクターとして森林づくりのボランティア活動をしていただく参加者が安全に作業を進めることができるように配慮し、困難な事例が生じた際には的確に処理ができる技術を身につけることです。KYK(危険予知活動)の手法を取り入れ、間伐の手順毎に作業前に現場を観察して予測される危険を洗い出し、事前に回避する手立てを講じることを学びました。また、掛かり木を安全に処理する技術を習得しました。

研修生は5班に分かれてヒノキ林内に入りました。第3班は洗い出した危険を回避しながら、次のとおり作業を進めました。伐採木は伐倒作業時に枝等が落下する枯損木、つるが絡んで倒れない木、伐倒方向が変わりやすい重心が大きく偏った木を避けて選びました。周囲との近接作業や上下作業がないこと、斜面の上から伐倒木や浮き石等の落下の恐れがないことを確認しました。伐倒方向は径路に向けて水平面より下方15°程度の方向に決め、伐倒木の跳ね上がりを防ぐために切り株を地際で切りました。退避方向を見定め、伐倒者の転倒を防ぐために伐倒木周辺の枝等を整理しました。ロープをかける際にはスリングが外れないようにねじれや不要な重なりが無いように巻き、滑車をきちんと取り付けました。伐倒方向がずれないように伐採木の幹が垂直に立ち上がった位置に、受け口、追い口の深さと角度、ツル(弦)の厚さをチョークで書きました。追い口を切り始める前には伐倒木の樹高の2倍の範囲に人がいないことを確認し、木が倒れる際にも大きな声で合図をしました。伐倒木は掛かり木になりました。掛かり木処理でやってはいけない行為は肩に当てて動かす、掛かっている木を伐倒する、掛かっている木の枝切る、ほかの木を倒して掛かり木にぶつける、元玉切りをすることです。木の下を通ることも危険です。伐

倒木の圧力が掛かっている谷側のつるを切り、また山側のつるを切り、山側に立ってフェリングレバーで幹を回転させて倒しました。回転させる際にはフックが外れないように深く打ち込み、体重をかけすぎないように注意しました。伐倒木は山側から枝払いをしました。玉切り材は腰を痛めたり足の上に落とすのを防ぐために手元ロープを使って立木に掛かるように置きました。作業が終わると空が見えるようになり明るくなりました。

様々なヒヤリハット事例を教わり、スリングや掛かり木の際には森林インストラクター自身を使用するフェリングレバー等の道具の使い方を丁寧に練習することができ、充実した研修となりました。そして、現場で事前に予想される危険を洗い出し事前に回避する手立てを講じることで、ボランティア活動の参加者に分かりやすく説明ができ、作業時の目配りもできるようになると考えました。

研 修 風 景



間伐現場で危険要素の洗い出し



フェリングレバーを使った掛かり木外し

講師：佐藤武晴⑤、滝澤洋子⑤、松永廣⑪、石川裕一⑫、岩田典義⑭

受講者：菊地昭子①、水津敏⑨、大澤斗志郎⑩、宮下修一⑩、湯浅鉄男⑪、上宮田幸恵⑪、真貝勝⑪

宇田川祐美恵⑬、北村貢⑬、斉藤夏葉⑬、松石藤夫⑬、國弘明子⑭、黒川敏史⑭、小松立史⑭

谷雅典⑭、藤井敏彦⑭、牧石稔⑭、水野安則⑭、阿藤壽孝⑮、石井裕⑮、石垣桃栄⑮、大高弘士⑮

末原與一⑮、飛田尚弥⑮、好泉正隆⑮

スタッフ：湯浅鉄男⑪、飯澤恒⑨

[写真撮影：飯澤 恒 ⑨]

左から フェリングレバー、滑車、スリング



森林癒やし部会

「ヨガ・ストレッチ研修会」

2月23日(土) 9:30~15:00 研修参加:20名

足柄上郡山北町 山北町健康福祉センター 山北町森林セラピーロード 河村城址

<記 相澤 恵美利 15期>

2月23日(土)森林癒やし部会 ヨガ ストレッチ研修会が山北町健康福祉センターで開催されました。参加者は20名。ヨガの講師に安藤誓子先生を迎え、呼吸法、基本のポーズの講習を受けました。今回は、森の中で癒やし体験をしながら、誰にでもできるようなヨガ的呼吸法を教えてくださいました。室内で呼吸法の講習を受けた後に、山北町のセラピーロードでもある河村城頂上の広場で立ちポーズの実習をしました。



室内での講習

毎日の忙しさの中で呼吸に意識を向ける事を忘れがちですが、手の動きをつけながら呼吸をすると胸のあたりの横隔膜や筋肉がよく開き、深い呼吸ができます。しっかりとお腹も膨らみ、そしてしっかりと吐き出す事ができてストレッチにもなりとても気持ちが良い呼吸法でした。



講師 安藤先生

ポーズも自分の体が無理しないように、何より楽しんでやるという先生のお言葉で、それぞれのペースで楽しみながらやれたと思います。河村城の広場で実習した立ちポーズはマットも必要なく、雨上がりなどで地面が濡れている時には大変有効で、座っているときより姿勢もよくなり、太陽からのご陽気、大地からのエネルギー、時折吹いてく風を感じながら大自然のエネルギーを十分に取入れられたと思います。



屋外で実践!



梅園と散策

ヨガ終了後、日向活性化施設で昼食をとりました。香り当てクイズでみかんをゲット! 酒匂川沿いを散策、藤井さんの梅園も見学させて頂きました。ちょうど開花の時期でお花が綺麗だったです。アロマセラピーインストラクターの時田さんから、香りについてのおはなしがありました。柑橘系の香りはリラックス効果があるそうで、質の高い睡眠にも有効だそうです。

実際にゆずとプチグレンの精油の香りを体験しました。

プチグレンは柑橘系の葉や枝の香りで、ミカンの葉っぱをちぎった時の様な青臭い香りでしたが、リラックス効果があるそうです。お天気も良くセラピーロードも気持ちよく、今後の活動にも活かせる大変有意義な1日を過ごす事ができたと思います。翌日、朝の目覚めがよく、気持ちも前向きで、やっぱり森林の中に入るのには心身にとっても効果的だと改めて実感しました。

(写真撮影: 宮下⑩・笠原⑭)

参加者: 若林⑦ 松本⑧ 草野⑧ 宮下⑩ 時田⑩ 吉田⑪ 山下⑪
上宮田⑪ 真貝⑪ 福島⑪ 湯浅⑪ 佐藤(義)⑪ 笠原⑭ 藤井(敏)⑭
藤井(世)⑭ 小林⑭

森のめぐみ シリーズ

枠組は桜の小枝です

炭水化物、アミノ酸、核酸、タンパク質のように生物が生きていく上で必須のもので共通して基本的に含まれている成分を一次代謝産物と言います。これに対して一般的でなく、植物によっては含まれていたり、いなかったりするもので、香りや色の元になるテルペンやフェノール類などの抽出成分などを二次代謝産物と言います。個々の木や草の色やにおいが違うのは二次代謝産物である抽出成分が含まれていることによります。抽出成分は個々の植物に特徴を与え個性を発揮させる働きをしているのです。

ところで抽出成分は葉や木部の特殊な組織で生産されます。そしてその抽出成分に糖が結合したものが作られますがそれを配糖体と言います。配糖体は植物体内での移送、代謝調節、貯蔵、生理活性などに関わっていると考えられています。

生産された抽出成分は移送されて特殊な場所に貯蔵されることになりますが、抽出成分の中でもフェノールのようなものはそれ自体では毒性を持つものもありますので配糖体にして弱毒化したり、水に溶けやすい配糖体の形にして他の器官へ移送しやすくします。その後木部に貯蔵された配糖体は、加水分解や酸化などの化学変化によって糖がはずれて変換されて心材成分となったり、病虫害の侵害を受けた時の防御成分や花などでは虫を誘引する物質として働くことになります。

配糖体はグリコシド (glycoside) と呼ばれますが、糖とテルペンやフェノール類などが結合したもので、糖が結合する前の化合物をアグリコン (aglycone) と呼びます。アグリコンにはテルペン類、フェノール類、フラボン類、ステロイド類、青酸化合物などがありますが、トリテルペンとステロイドの配糖体を特にサポニンと言います。

配糖体は酸や酵素によって糖とアグリコンに分解されます。例えば桃の根の樹皮に含まれるアミグダリンやプルナシンという青酸配糖体は土中の微生物や酵素によってベンズアルデヒド、安息香酸、青酸に分解します。そして安息香酸と青酸が他の

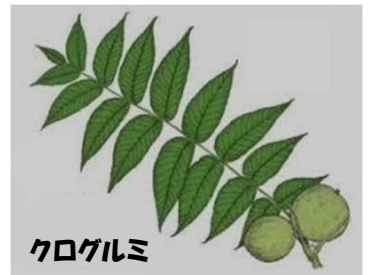
第29回 配糖体

東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏

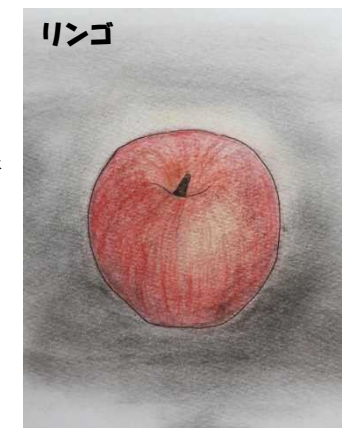
植物の発芽成長を阻害するアレロパシーの現象を引き起こし、またいや地現象の元にもなります。配糖体であるアミグダリン、プルナシンには阻害作用はありません。植物体内では弱毒化して自分の身を守っているのです。

このような例は他の植物にも見られます。クルミの1種クログルミは体内にフェノール配糖体を有していますが、木自体が傷ついたりして体外に分泌されたり雨で流れ落ちたりすると土壤微生物の働きで加水分解により糖がはずれてユグロンというフェノール化合物になります。ユグロンには強いアレロパシーの作用がありますのでクルミの木の周囲に他の草が生えにくくなり裸地ができることとなります。クログルミに限らずオニグルミなどクルミの仲間には似たような現象がよく見られます。そのような働きによってクルミが他の植物を押しつけて成長が比較的早い原因になっているのかもしれませんが。

りんごの木にはフロリジンというフェノール配糖体が含まれていてやはり同じように加水分解を受けて糖がはずれて安息香酸に似たフェノール化合物を作りだします。安息香酸にはアレロパシーの作用や抗菌作用がありますので、それで外敵に備え身を守っているのです。植物の持つ配糖体、それは体内では力を発揮せずに温存し、体外に出た時に初めて力を発揮する隠れた秘密兵器とでもいえるでしょう。



クログルミ



りんご

(イラスト 広報部 加藤 優美 ⑮)

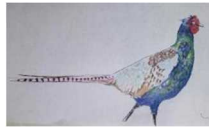
活動短 信

今回の掲載は AD2018.H30.12/15～AD2019.H31.1/19
寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降
の掲載になるものもあります。



フリーイラストより

熊 蟄 穴 12/12～12/16 頃
くまあなにこもる
熊が穴に入って冬ごもりする
第六十二候 大雪 次侯



イラスト大塚晴子⑩ (過去掲載を転用)

雉 始 雛 1/15～1/19 頃
きじはじめてなく
雉が鳴き始める
第六十九候 小寒 末侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明
ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。
(できれば Word、メール直筆でも OK。Excel はできるだけ
避けてください。改行等の処理に手間を要しますので)
写真もあれば1枚添付ください。

◆ 活動団体・活動名 等

日 日付(できれば時間と天気も)
場 場所 (例: 相模原市緑区 長竹承継分収林)
参 参加者 人数
県 神奈川県 環境農政局 緑政部
水源環境保全課 水源の森林推進グループ
財(公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師
スタッフ 例 小田原市森林組合XX様
例 川崎市公園緑地協会・XX様

イ インストラクター (○数字:期) **研** 研修枠
以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください
リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック
をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

◆ 県民参加の森林づくり 除伐

(秦野市との共催活動)

日 H30 年 12 月 15 日(土)8:30～14:30 晴れ
場 秦野市曾屋(弘法山公園)
参 83 名(男性 69 名、女性 14 名)
財 豊丸様、大木様 **看** 青木様
スタッフ 秦野市森林課:石原様、
神奈川森林組合連合会:樋口様、籠島様
イ L 宮下⑩、佐藤⑤、永野⑥、鈴木⑧、波多野⑨、
上宮田⑪、山口⑪、湯浅⑪、山崎⑫、藤代⑬、
前田⑬、伊東⑭、末原⑮、大高⑮、飛田⑮、
妙泉⑮ **研** 吉川⑮、村井⑧

今日は快晴で秦野駅までの電車の窓からは、雪で真白
な富士山を見ることが出来た。少し寒いが絶好の活動日。
時には参加者が秦野駅に集合。バスに乗車後「名水は
だの富士山の湯」に隣接するクリーンセンターに到着。

オリエンテーションでの挨拶、作業内容とスケジュール
、安全目標や安全作業上の諸注意を説明後 ストレッチ
体操。本日は多くの参加者が一同に作業するため、安全
目標を「隣接作業注意」とした。作業は、弘法山公園の雑
木林での除伐。直径 10cm 以上の木とモミジ類は残し、基
本的に伐採。公園という場所柄、また、道路やハイカーが
通る道に隣接するエリアでもあり、伐採した木や枝もきれ
いに整理するなど丁寧な管理が求められた。



道具置き場までの 20 分の移動後、道具を装備し、5 班
編成でそれぞれの作業エリアに向かった。班ごとに、作業
内容や作業の仕方、安全上の注意などを確認した後、除
伐作業を行った。2 時間ほどで予定した雑木林の除伐作
業は、ベテラン組の活躍もあり無事終了。林は見通しが良
くなり、きれいに整備され、明るい林となった。参加者から
は、きれいな林になった、丁寧な作業が出来た、楽しく作
業が出来たなどの感想をいただきました。ベテラン組から
はもう少し作業をしたかったという要望もありました。

秦野市からは、多くの方の協力を得て本当にきれいな
雑木林になりましたという感謝の御言葉をいただいた。ま
た、作業地の横を通るハイカーからは、ボランティアで作
業されご苦労様、きれいになりますね、春には花が咲くの
が楽しみですなどのお声掛けをいただきました。作業後、
秦野市のご厚意により、「名水はだの富士山の湯」で入湯
させていただき、参加者の方々には、気持ちいいひと時を過
ごしていただいたのではないかと思います。お疲れ様で
した。

(記 宮下 修一 ⑩)

かながわしずくちゃん Facebook は下記 URL で見ることができます。



<https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku>

◆ 県立21世紀の森 自然観察会「冬の野鳥観察」

日 H30 年 12 月 15 日(土)9:00~14:00 晴れ

場 南足柄市内山 県立21世紀の森

参 大人14名(女8名 男6名)

スタッフ 21世紀の森 平井様 早川様

イ L 石原⑧

観察会当日は、穏やかな晴天で絶好の探鳥日和となった。森林館でオリエンテーションの後、イロハモミジやオオモミジ、マルバウツギなどの美しい紅葉を眺めながら出発。

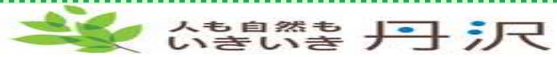
例年より一ヶ月ほど早い開催のためか野鳥の数が少なく、その姿をじっくり観察することはできなかったが、紅葉や木の実・草の実、ウスタビガの繭、猛禽類に捕食された？アオバトの羽根等々、この時季ならではの自然観察を楽しみながら歩いた。

昼食時に提供された暖かいスープは参加者全員の心と体を温めてくれたようだ。

昨年と比べてニホンジカの痕跡は確実に増えている。

(今回観察できた鳥類 姿19種・声16種)

(記 石原 和美 ⑧)



丹沢の自然再生に取り組む 丹沢大山自然再生委員会のホームページをご覧ください。 <http://www.tanzawasaisei.jp/>

◆ 県民参加の森林づくり 竹林整備

日 H31 年 1 月 19 日(土)8:30~13:00、晴れ

場 川崎市麻生区 栗木山王山特別緑地

参 79 名(大人 77 名 子供 2 名)

財 大木様 古舘様 看 青木様

来賓 川崎市緑政部岡田様 遠藤様

スタッフ 川崎市公園緑地協会 県森連

イ L 小野⑦ 森本⑤ 渡部⑦ 有坂⑧ 斎藤⑧ 宮下⑩ 大橋⑪ 山口⑪ 山下⑪ 西出⑫ 渡辺(朋)⑫ 伊東⑭ 水野⑭ 末原⑮ 竹内⑮ 飛田⑮

研 村井⑨ 大見⑮ 鶴井⑮ 妙泉⑮

集合地の小田急線栗平駅南口から丹沢山系越しに富士山がくっきり見える快晴の一日でした。猛威を奮うインフルエンザの影響もあり、一般参加者は 79 名となりました。8 時 40 分、五班に分かれて出発、作業場所の川崎市栗木山王山特別緑地に到着し、早速オリエンテーションを開

始。栗木山王山は薪炭林が放棄された後、竹に侵入されて竹林ジャングルとなった場所です。2012 年に富士通が緑地保全のために活動を開始し、13 年には川崎市と 6 年間の保安全管理活動の協定を結んでいます。これまで県民参加の森林づくりも何度か伐倒作業を実施、皆伐まではあと一息です

簡略な作業説明、ストレッチの後、班毎に作業手順を確認。倒す時は安全を確認し、大声で知らせる、伐倒した竹は約 4 メートルに玉切りして集積場所へ、枝払いには鋸で行う、高い位置での伐倒は地際で切り戻す、などです。湿地と急斜面があるので、安全確認は「足元注意」です。

一班から四班までは西側急斜面を南の奥から、五班は尾根筋と分かれ作業開始しました。竹の伐倒は分かり易くて楽しいので、玉切り、枝払い、搬出がおろそかになりがちです。役割交代の声を掛け進めました。12 時終了時には、斜面が見違えるほど明るくなりました

昼食を摂りながらの感想では、「倒した時は爽快だった」と喜んで頂けた反面、「狭い敷地なので、近接作業に不安があった」という声もありました。今後の課題としたいと思います。再び班毎に栗平駅迄歩き、13 時に解散となりました。

(記 竹内 明彦 ⑮)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。
全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

アースデイ東京 2019

会場:代々木公園(イベント広場・ケヤキ並木)

日程:

4 月 20 日(土)10:00~19:00

4 月 21 日(日)10:00~18:30

※時間は変更になる可能性有

※出展テントは 17 時まで営業

※雨天決行

来場:12 万人(昨年実績)

主催:アースデイ東京 2019 実行委員会

(実行委員長 C.W.ニコル) 入場:無料

<http://www.earthday-tokyo.org/sample-page>



やどりき水源林ミニガイド

3月のトピックス

案内人インストラクターの 2019 年度ミーティングが行われました。(3/17)



(松本① 撮影 集会広場)

4月の水源林

春がやってきました。草花の芽吹き、様々な花も咲きます。皆さんいらっしやい!!

「森の案内人」情報

案内人も張り切ってお待ちしています。

●実施時間: 毎週土曜・日曜・

AM10 時・PM1 時, 1~2 時間程度

●集 合: 水源林入口ゲート前

●内 容: 森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料

*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。

●問合せ: (公財)かながわトラス

みどり財団 TEL: 045-412-2255

FAX: 045-412-2300

●ホームページ: <http://www.ktm.or.jp>

<http://ktm.or.jp/contents/event/127/yadorikif27.html>

E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約 25 分。

バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩 35~40 分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

イベント情報 & ご案内

箱根湿性花園
美しい日本の花と出会う

開園期間: 3 月 20 日~11 月 30 日
営業時間: 9:00~17:00
箱根町仙石原
Tel: 0460-84-7293 Fax: 0460-84-6871
<http://hakonekanko.com/>

◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。

<広報全般についてのお問い合わせ>

松本 保

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

Tel: 090-7962-3168

<電子配信担当> 笠原かずみ

Mail: happy_kumakuma711@icloud.com

Tel: 090-4137-9265

<メール・手書き原稿送り先>

【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先: 090-7962-3168

Mail: matsutamori@jcom.zaq.ne.jp

【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊は CC を】福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: fucky52000@yahoo.co.jp

原稿は随時受付けています。

森のなかまは過去号もご覧になれます。
(ホームページ) <http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01>
(HP 担当: 井出恒夫)

編集後記

★4 月に近づくにつれ、平成最後という言葉をよく耳にします。昭和最後の日、世間が暗くなったような記憶があるので、平成最後の日、明るい気持ちで終わりたいなあと思います。

(笠原)

★新しい年度が始まりました。インストラクターの皆様「県民参加の森林づくり」の 2019 年度派遣表が、別冊に掲載されています。確認してください。

(黒川)

★今年も我家の巣箱で「しじゅうから」の巣作りが始まりました。忙しそうに材料を運ぶ親鳥を観察できます。



(阿藤)

★新学期が始まります。桜は満開に。新入生の子供達の初々しいこと。全ての生き物が春を満喫しているように感じます。

(吉田)

★平成最後の会報です。平成元年の 1989 年は世界も大変革年でした。ベルリンの壁崩壊。平和が訪れ始めましたが、それから 30 年愚かな人間達は、また愚かな繰返しをしています。情けない。

(松本)

年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、郵便局備付けの郵便振替を利用してお申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インストラクターの会宛まで 2000 円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から 12 回/1 年間お届け致します。

編集人: 松本 保

事務局: 福島正治

広報部: 藺田栄哉 吉田郁夫

黒川敏史 笠原かずみ

加藤優美 阿藤壽孝、竹内明彦

支援: 伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

寄バス停から歩いていける桜や花の情報

バスは新松田から
でています。



- ・土佐原の大きなしだれ桜 (左の写真)
- ・宇津茂の大きなしだれ桜
- ・中津川沿いのしだれ桜
- ・中津川沿いの花壇

*そしてやどりき水源林の桜